学校番号	413

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「精選現代文Ｂ」（東京書籍）						
副教材等	「入試漢字ＴＯＰ2000」（いいずな書店）「イラストとネットワーキングで覚える現代文単語」（いいずな書店）「改訂版プログレス現代文総演習標準編」（いいずな書店）「新訂総合国語便覧」（第一学習社）「新訂総合国語便覧準拠ノート」（第一学習社）「評論速読トレーニング 1500」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業ばかりでなく普段の生活の中でも語彙を豊かにするよう努める。近現代の著作に親しむことで、考える力・表現する力を身につけることが期待できる。その際、自分の視点からばかりでなく、他者の視点にからもものごとを見るよう心がけたい。さらに、そのようにして深めた自分の考えを言語化するよう努めるとよい。

2　学習の到達目標

・文章を読んで、構成、展開、要旨、情景、心情の描写などを的確にとらえることができる。
・文章を読み、批評することを通して、人間、社会、自然などについての自分の考えを深めたり、発展させたりしていくことができる。
・人間関係における様々な場に応じて、互いを尊重し、相互理解を深め、考えを伝え合うことができる。
・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現できる。
・語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色を捉え、自分の表現に役立てることができる。
・積極的に学習計画を立て主体的に読書をする習慣を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったり、異なる意見を受け止めながら自分の意見を深め、まとめて発言している。	目的や場、相手や課題に応じて、様々な観点から考え、思考を深め、より伝わりやすい形で書いている。	幅広く深い話題・論題の様々な文章を的確に読み取り、自分の考えを深め、発展させている。	古語、漢語など伝統的な言語文化に加え、外来語、専門用語などに対する理解を深め、語彙等を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	評論	教材:「文学の未来」 小野正嗣	○		○	◎	○	a:筆者の述べる，テクストと読み手の関係について考えながら、読解している。 C:本文を踏まえ、今後「文学」が必要とされる理由を端的にまとめる。 d:抽象的な事柄を論じた評論を読み，自分の考えを深める。 e:語彙を正しく理解し、自家薬籠中のものにしている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
	小説	教材:「旅する本」 石田依良	○		○	◎	○	a:小説における場面に即して、登場人物の心情を理解している。 C:第三の物語においえ、「本」との出会いにより人物の今後はどうなるかを簡潔に記述する。 d:本文を人物の行動によって人物の心理状態を捉えている。さらに、それぞれの場面における役割の変化を捉えている。 e:作者の経歴やその他の作品について概略を知る。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
	評論	教材:「環境問題と孤立した商人」河野哲也	○	○		◎	○	a:評論文を読み、現代の社会における自分の生き方について考えている。 b:本文の内容を踏まえつつ、自分なりの発言をしている。 d:環境問題と近代の要点を捉えながら読解し、筆者の近代の個人概念に対する筆者の問題意識を読み取っている。 e:近代科学の自然観について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査 ・話し合いの観察
	随筆	教材:「クレールという女」 須賀敦子	○	○		◎	○	a:書物の持つ影響力に対し自分なりの考えを持っている。 b:テーマに沿って調べたり考えたりしたことを、わかりやすく伝えているか。 d:取り上げられている書物の概略、登場人物それぞれの生き方・考え方を把握し、若い頃および四十年後の筆者が『人間のしるし』を読んでどう考えたかをつかんでいる。 e:読む年代による書物から得られるものの相違を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
二学期	評論	教材: 「平気－正岡子規」 長谷川櫂	○			◎	○	a:子規について興味を持っている。 d:子規の人物像に注意しながら子規の「悟り」について理解している。また、高浜虚子が選んだ子規の俳句の特徴と子規像，それに対して大岡信の選んだ俳句の特徴とそれを通して浮かび上がる新たな子規像を理解している。 e:文学史の知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査

二学期	小説	教材:「舞姫」 森鷗外	○			◎	○	a:時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考えている。 C:主人公の考えや行動と時代性と関連付け感想を記述する。 d:過去回想の部分を大きく四つに分け、主人公の考えや行動が、明治という時代と関係しているということを理解している。 e:古語辞典や古典文法を用いて読解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
	評論	教材:「他者の声実在の声」 野矢茂樹	○	○		◎	○	a:取り上げられている話題に関心を持っている。 b:他我問題と外界問題について読み取ったことを発表できる。 d:「言語の内」「言語の外」という対比の意味を理解し「他者性の問題」と「実在性の問題」について理解している。さらに、前半と後半がどのように対応しているか理解している。 e:抽象度の高い語句を使いこなせる。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
三学期	小説	教材:「トランジット」 小川洋子	○			◎	○	a:「出会い」の持つ意味について関心を持っている。 d:作品の全体像を概観し，時系列に即した展開を読み取っている。さらに主人公や登場人物の会話の様子、境遇、心情の変化を理解している。 e:正作品の設定や舞台の背景知識を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。